人材育成連携協定を締結しました

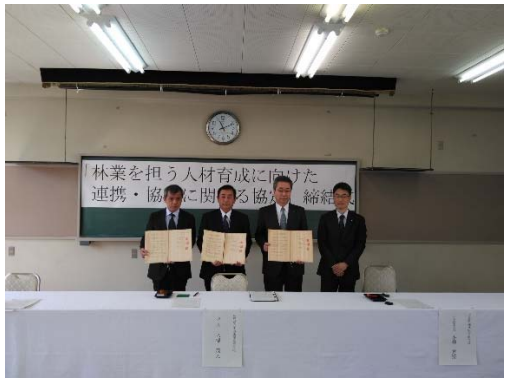
令和２年３月２５日
広島北部森林管理署

広島北部森林管理署、広島県森林組合連合会及び広島県立庄原実業高等学校は、令和 2 年 3 月 24 日庄原実業高等学校環境工学科で林業を学ぶ生徒を対象にした人材育成に取り組むとした「人材育成連携協定」を締結しました。

広島北部森林管理署では、今年度から森林経営管理制度が運用されたことを踏まえ、新たな民有林支援として、管内にある広島県立庄原実業高等学校環境工学科の生徒を対象にした森林環境教育(出前講座)に取り組んでおり、学校で学ぶ専門教科を補完する分野について、継続的に行っているもので卒業するまでの間に計 6 回の森林環境教育を行うこととしています。

この取組を更により効果的なものとして提供していくため、担い手対策について積極的に取り組んでいる広島県森林組合連合会及び広島県立庄原実業高等学校と相互に連携・協力して、環境工学科で林業を学ぶ生徒に対する継続した森林環境教育を提供することにより、次世代を担う人材育成に民国連携して取り組むこととしました。

協定締結の様子(締結者による署名)



人材育成連携協定

この協定締結により、実際の事業現場における実習や最新の森林・林業・木材産業を取り巻くデータ等の提供など、3 者が相互に連携・協力して庄原実業高校環境工学科の生徒に対し更により効果的な森林環境教育を提供していきます。

また、広島県森林組合連合会では、昨年 11 月から森林環境譲与税を活用した無料職業紹介事業(県森林組合連合会が当該事業を行うのは全国初)に取り組んでいることから、森林・林業・木材産業分野における就職先の紹介も環境工学科の生徒に提供していくこととしています。